

## 問に答ふ

■美術新報及美術學校々友會月報發行所  
其他を知りたし(柏木生)◎前者は毎月二  
回一部五錢東京本郷湯島切通坂上書報社  
發行、後者は美術學校出身の會員のほか  
配布せず■『みづゑ』缺號は何日頃再版す  
べきや(C、H生)◎再版は不可能■大下  
先生筆『社頭』の肉筆を見たり、右石段の  
蔭の色及びコマイヌの台の色の順序を知  
りたし(シゲル)◎舊作にして且手許に繪  
がなき故御答致しがたし、但、蔭の色の  
如きは他の印象を強くするため種々なる  
暗き透明色を重ね用ひし事と覺ゆ(大下  
生)■一 畫架用梲押へ金具の使用法二  
油繪を水彩畫に改め摸寫すると色が汚れ  
るに困る、濃い處は重ねて畫くものにや  
三 神戸にて水彩畫の良教師を知りたし  
(津川清平)◎一 文房堂の目錄に圖があ  
る通り畫架の脚を通して梲押への金具の  
爪をカンパスに掛けネジを締るなり二  
水彩の摸寫と異なる事なけれど、油繪は  
重く且色調強ければ、其場合に應じ、重ね

てもよし一度に強き色を塗るも可なり三  
如何なる畫家が居るか知られど良教師は  
得難からん■一 私は普通間接讀者であ  
るが寫生畫の批評を願はるべきや二 大  
下先生は夜分は何日も御在宅にや三 完  
全なる遠近法の獨習法を知りたし四 繪  
が寒いとは如何なる理由なりや五 水彩  
スケツチに紙の大なると小なると何れが  
よきや六 雜木林を寫すに葉を先にす  
るにや幹を先にするにや七 洋畫研究者に  
利益ある美術書數種を知りたし(日本橋  
和輝生)◎一 毎土曜日午後一時より三  
時迄春鳥會へ、又は第四日曜日正午より  
一時迄日本水彩畫會へ御持參になれば批  
評して差上べし、郵便にて送ることは御  
斷り申す、若し持參叶はぬなら會員とな  
られよ 二 未定 三 完全且獨習に好適  
の書はなし、參考書としては日本橋本町  
金港堂發行井波氏の用器畫法第三がよか  
らん解説共三十八錢なり四 自然の色彩  
は多量に熱色を含むものなり、それを寒  
色を多くして畫くと繪が寒くなるなり、  
又自然の色彩は極めて複雑豊富なるもの

なり、それを單調に畫くと色が貧しくな  
る、これも寒いといふなり五 初學の人  
にはワットマン十六切以上九ツ切位ひが  
適當ならん、技術が進んだら四ツ切半切  
など試みて可なり六 何れにても可なり、  
其時の便宜に従ふをよしとす、但し繪は  
一部分宛仕上るものでなく絶えず全體に  
着色してゆくこと必要なり七 最新水彩  
畫法六十五錢博文館、畫道一班六十五錢  
博文館、藝苑雜稿、九十錢、湯島切通坂上  
書報社、其他數種、序に君の質問は他に  
十一項あり、右は水彩畫に直接關係なき  
もの多く、紙面を塞ぐことを得ず、第一  
に答へし時間内に來つて直接問合はされ  
たし■一 文部省展覽會は何日ですか誰  
でも觀にゆけますか二 油繪畫法は何と  
いふ書ありや三 繪畫獨習書の發行所四  
方寸の發行所(相澤兵治)◎一 十月十五  
日より十一月二十四日迄開會、誰でも參  
觀し得二 適當の書あるを知らず、繪畫  
獨習書には多少説明あり三 神田區駿河  
臺國民書院發行定價壹圓四 本郷千駄木  
林町方寸社一部十五錢